



2026年1月23日

風力発電を活用したバーチャル PPA により新幹線を再エネ化します！

九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長執行役員：古宮洋二、以下「JR 九州」）はコスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモエコパワー株式会社（代表取締役社長：野倉 史章、以下「コスモエコパワー」）と、2026年1月5日付で、バーチャル PPA*（以下「本 PPA」）を締結しました。

*PPA…「Power Purchase Agreement」の略で、需要家が発電事業者から長期にわたって自然エネルギーの電力を購入する契約。バーチャル PPA は、需要家が環境価値のみを購入することから仮想電力購入契約という。

本 PPA は、コスモエコパワーが運営する大分ウィンドファーム（別紙参照）との契約です。同発電所は2023年4月に商業運転を開始し、JR 九州が事業を展開する九州エリアへ電力を供給しています。本 PPA の締結をもって大分ウィンドファームより得られる環境価値は、JR 九州の西九州新幹線に使用される電力量の一部に対して実質的に再生可能エネルギー由来の電気とみなされます。

これによりJR 九州は、大分ウィンドファームから発電に伴って生み出される年間約 500 万 kWh 分の環境価値を非化石証書として 17 年間にわたり受け取り、年間約 2,360t の CO₂ 排出量を削減できる見込みです。（一般家庭約 910 世帯分に相当）

JR 九州は「JR 九州グループ環境ビジョン 2050」により 2050 年カーボンニュートラル目標を掲げており、コスモエコパワーはコスモエネルギーグループの一員として「2050 年カーボンネットゼロ」の実現をめざしています。両社は今後も、カーボンニュートラル社会の実現のため、再生可能エネルギーの普及促進と地域の発展に貢献してまいります。

【本件のバーチャル PPA のイメージ】





(大分ウィンドファーム)

発電所概要

発電所の名称	大分ウィンドファーム
所在地	大分県大分市、臼杵市にまたがる行政界付近の尾根部
設備能力	14,000kW